

2008年3月期決算説明会

2008年5月22日

JUKI株式会社

取締役社長 中村 和之

Mind & Technology

JUKI
Mind & Technology

目次

I. お詫び			
II. 決算説明			
第1部 08/3期(07年度)業績			
1. 08/3期(07年度)業績のポイント	4		
2. 08/3期(07年度)業績	5		
3. 主要財務項目	7		
4. 純資産の推移	8		
5. キャッシュフロー	9		
6. 05-07中期経営計画達成状況	10		
第2部 セグメント別業績と事業動向			
1. セグメント別業績	12		
2. 工業用マシン事業	14		
3. 産業機器事業	17		
4. 家庭用マシン事業	20		
5. 電子・精密機器事業	22		
6. その他事業	23		
		第3部 09/3期(08年度)事業計画	
		1. 事業計画のポイント	25
		2. 09/3期(08年度)業績予想	26
		3. セグメント別業績予想	27
		4. 開発投資・設備投資	30
		5. 株主還元のお考え方	31

訪問販売を営む当社子会社JUKI家庭製品(株)は、本年3月19日、特定商取引法に違反する営業行為が過去にあったとして、経済産業省より行政処分を受けました。

当社および当該子会社は、2004年11月施行の改正特定商取引法を踏まえ、法令遵守の徹底に努めるとともに、訪問販売事業からの撤退のために支店および人員の削減を進めてまいりましたが、法令に違反する営業行為の発生を阻止できず、今般の処分に至ったものであります。お客様、株主並びに関係者の皆様には多大なご迷惑をお掛けしましたことを心よりお詫び申し上げます。

当社グループは、本件処分を真摯に受け止め、コンプライアンス体制を一層強化し、信頼回復に向けて一丸となって取り組んでまいります。

第1部

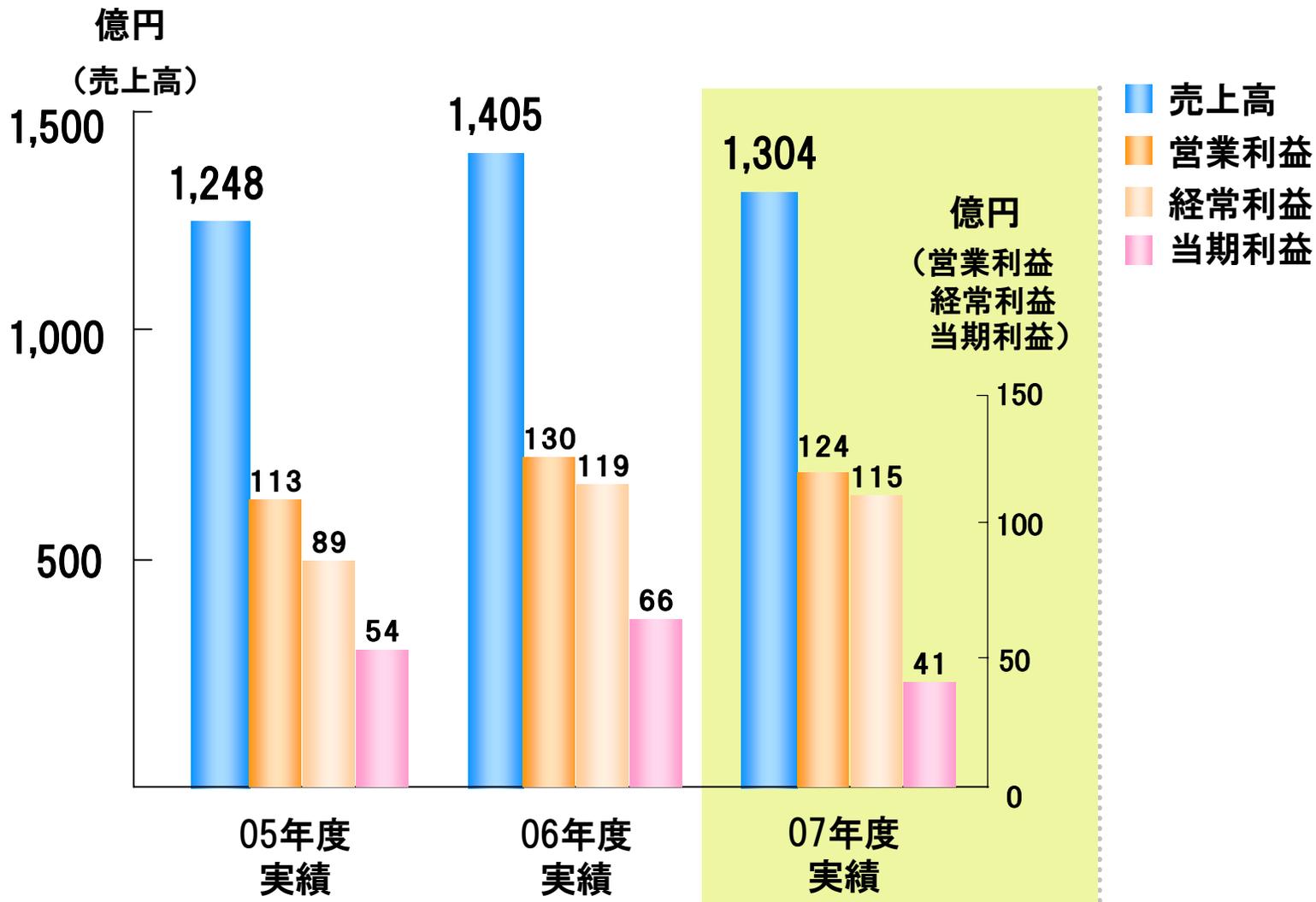
08/3期(07年度)業績

前年比減収減益。通期の営業利益率、経常利益率は向上

1. 売上高は前年比101億円の減。工業用ミシンを除き全部門が減少
2. 営業利益は124億円
(前年比4.9%減、営業利益率9.3%→9.5%)
経常利益は115億円
(前年比3.7%減、経常利益率8.5%→8.8%)
3. 当期純利益は41億円(前年比37.4%減)
 - ・訪問販売事業および米国生産子会社撤退等による特別損失39億円
4. 期末配当は5円/株を予定(年間10円/株)

単位:百万円

	05年度 実績 (利益率)	06年度 実績 (利益率)	07年度 実績 (利益率)	06年度比 増減 (利益率)	06年度比 増減率
売上高	124,788	140,497	130,351	△10,146	△7.2%
営業利益	11,266 (9.0%)	12,995 (9.3%)	12,352 (9.5%)	△643 (+0.2%)	△4.9%
経常利益	8,890 (7.1%)	11,962 (8.5%)	11,516 (8.8%)	△446 (+0.3%)	△3.7%
当期純利益	5,369 (4.3%)	6,594 (4.7%)	4,126 (3.2%)	△2,468 (△1.5%)	△37.4%
配当	6円/株	10円/株	10円/株	0円/株	—



在庫増47億円、現預金増9億円等により総資産は27億円増加

単位：百万円

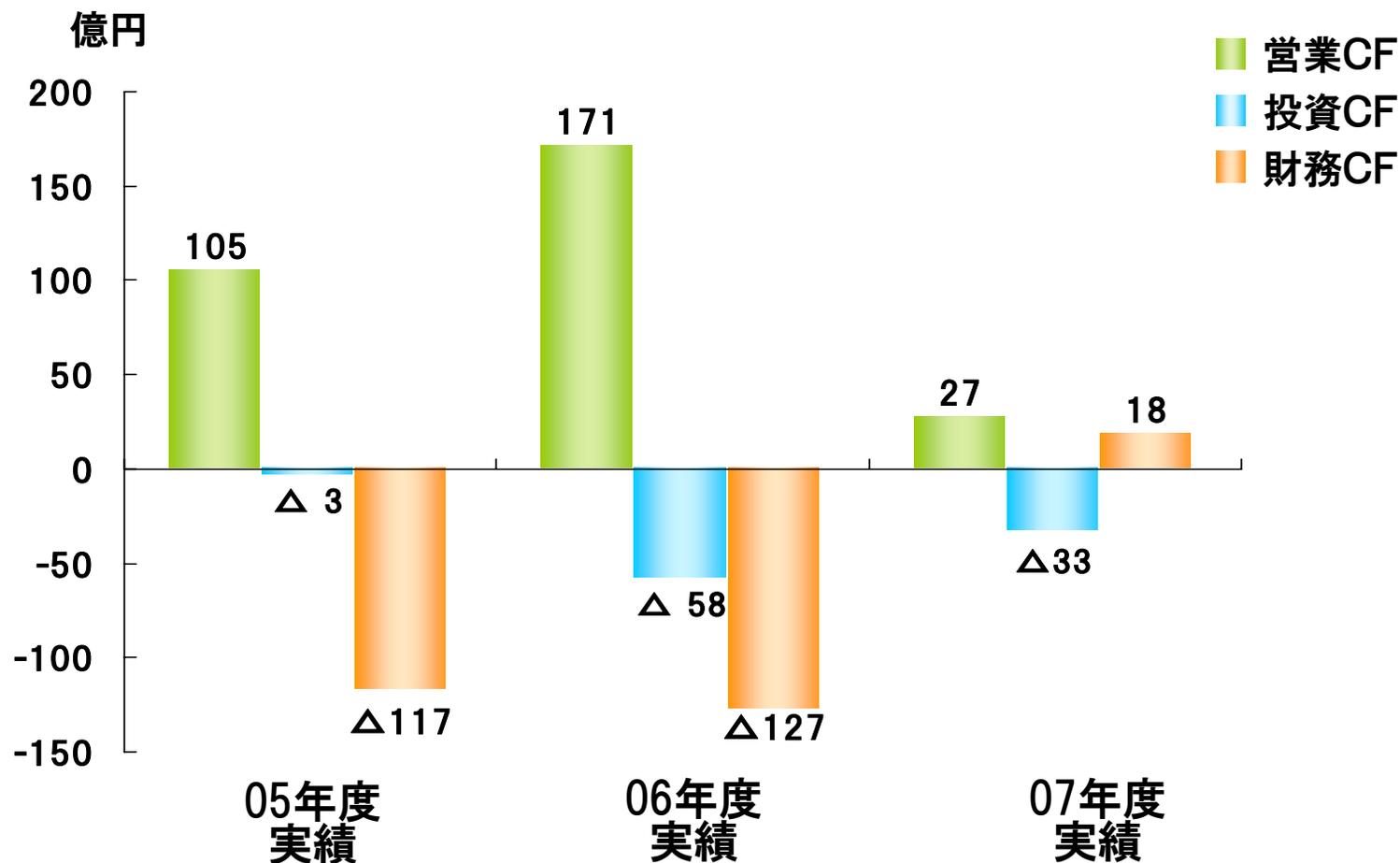
	05年度 実績	06年度 実績	07年度 実績	06年度比 増減	06年度比 増減率
総資産	113,923	114,943	117,635	2,692	2.3%
有利子負債	48,979	37,616	40,994	3,378	9.0%
純資産	27,745	33,816	37,100	3,284	9.7%
自己資本比率	24.4%	29.1%	31.3%	2.2%	—

米国生産子会社の株式譲渡に伴い、為替換算調整勘定のマイナスが縮小。保有株式の評価に伴いその他評価差額も減少

単位:百万円

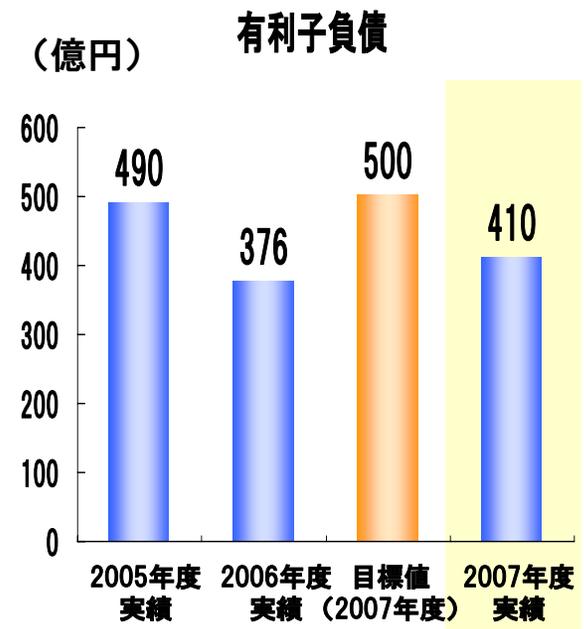
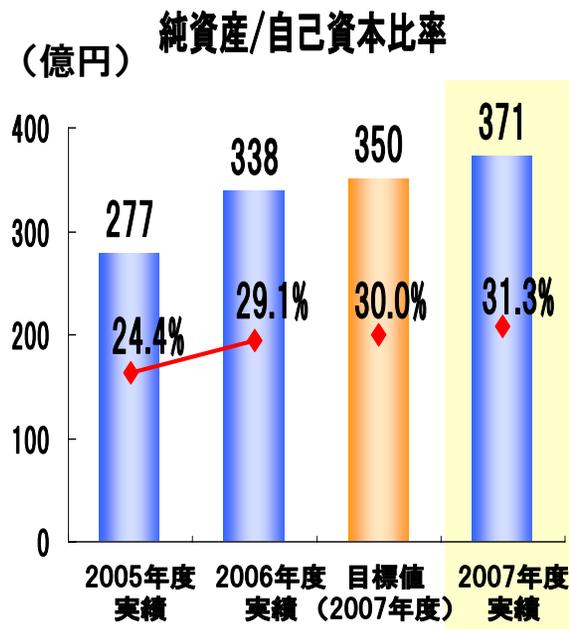
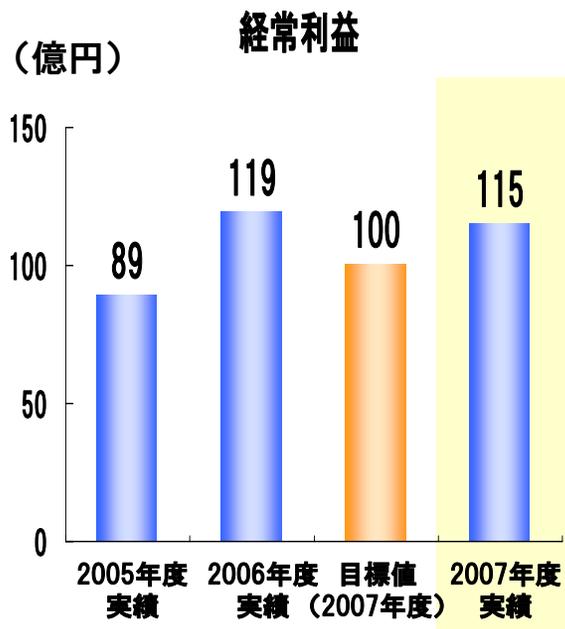
	05年度 実績	06年度 実績	07年度 実績	06年度比 増減	06年度比 増減率
資本金・ 資本剰余金	24,950	24,950	24,950	0	0%
利益剰余金 (当期純利益) (配当)	5,035 (5,369) (△467)	10,478 (6,594) (△1,163)	13,054 (4,126) (△1,550)	2,576 (△2,468) (△387)	24.6% (△37.4%) (33.3%)
為替換算 調整勘定	△3,344	△2,646	△1,260	1,386	52.4%
その他評価 差額	1,104	1,034	356	△678	△65.6%
純資産	27,745	33,816	37,100	3,284	9.7%

利益減、在庫増、税金増等により営業CFが縮小



最終年度の3目標全てを達成

目標項目	目標値(2007年度)	2007年度実績
経常利益	100億円	115億円
純資産(自己資本比率)	350億円 (30%)	371億円 (31.3%)
有利子負債	500億円	410億円



第2部

セグメント別業績と事業動向

工業用ミシンを除き全部門で減少。訪問販売は2月1日をもって営業活動を停止

単位:百万円

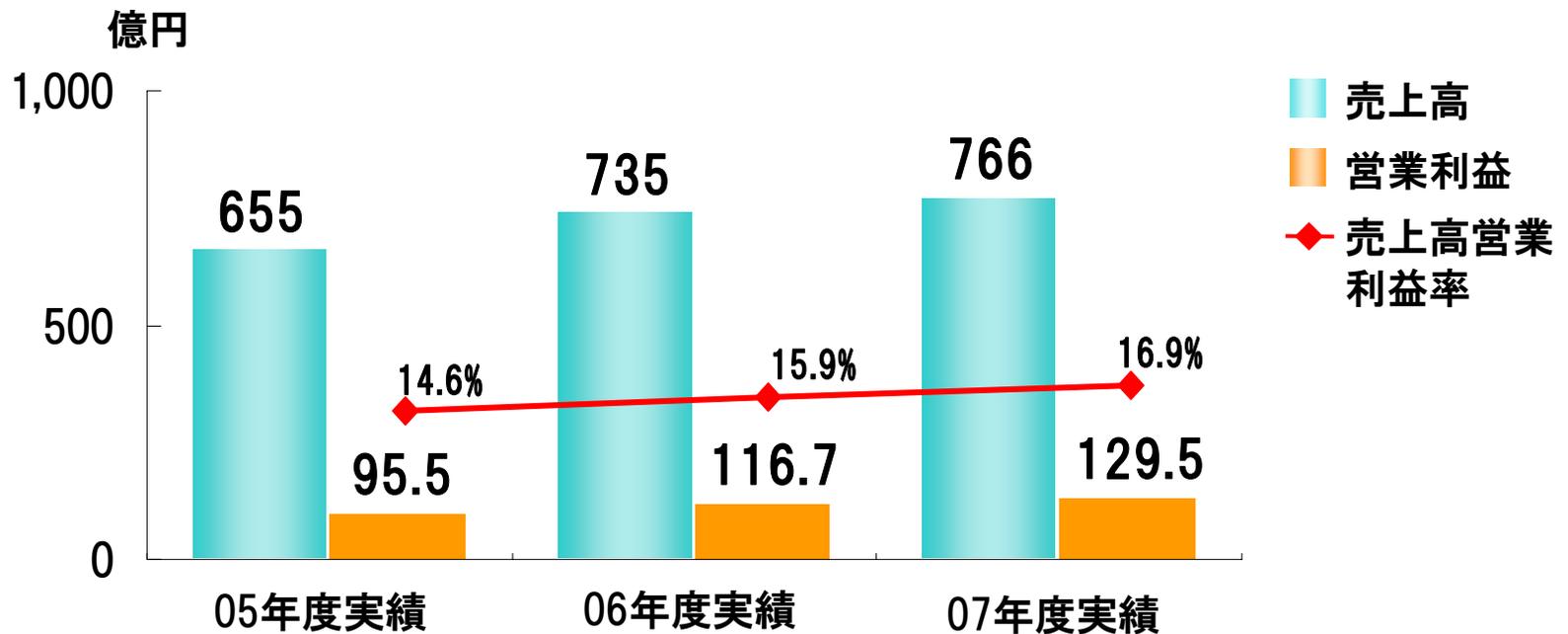
	05年度 実績	06年度 実績	07年度 実績	06年度比 増減	06年度比 増減率
工業用ミシン	65,475	73,459	76,625	3,166	4.3%
産業機器	21,290	31,388	29,812	△1,576	△5.0%
※家庭用ミシン	10,510	8,599	5,983	△2,616	△30.4%
電子・精密機器	14,799	16,704	9,596	△7,108	△42.5%
※その他	12,711	10,345	8,332	△2,013	△19.5%
売上高合計	124,788	140,497	130,351	△10,146	△7.2%
※うち訪問販売 合計	12,285	8,344	4,715	△3,629	△43.5%

工業用マシンは増加。産業機器、電子・精密機器は大幅減。
家庭用マシンの赤字はピークに

単位：百万円

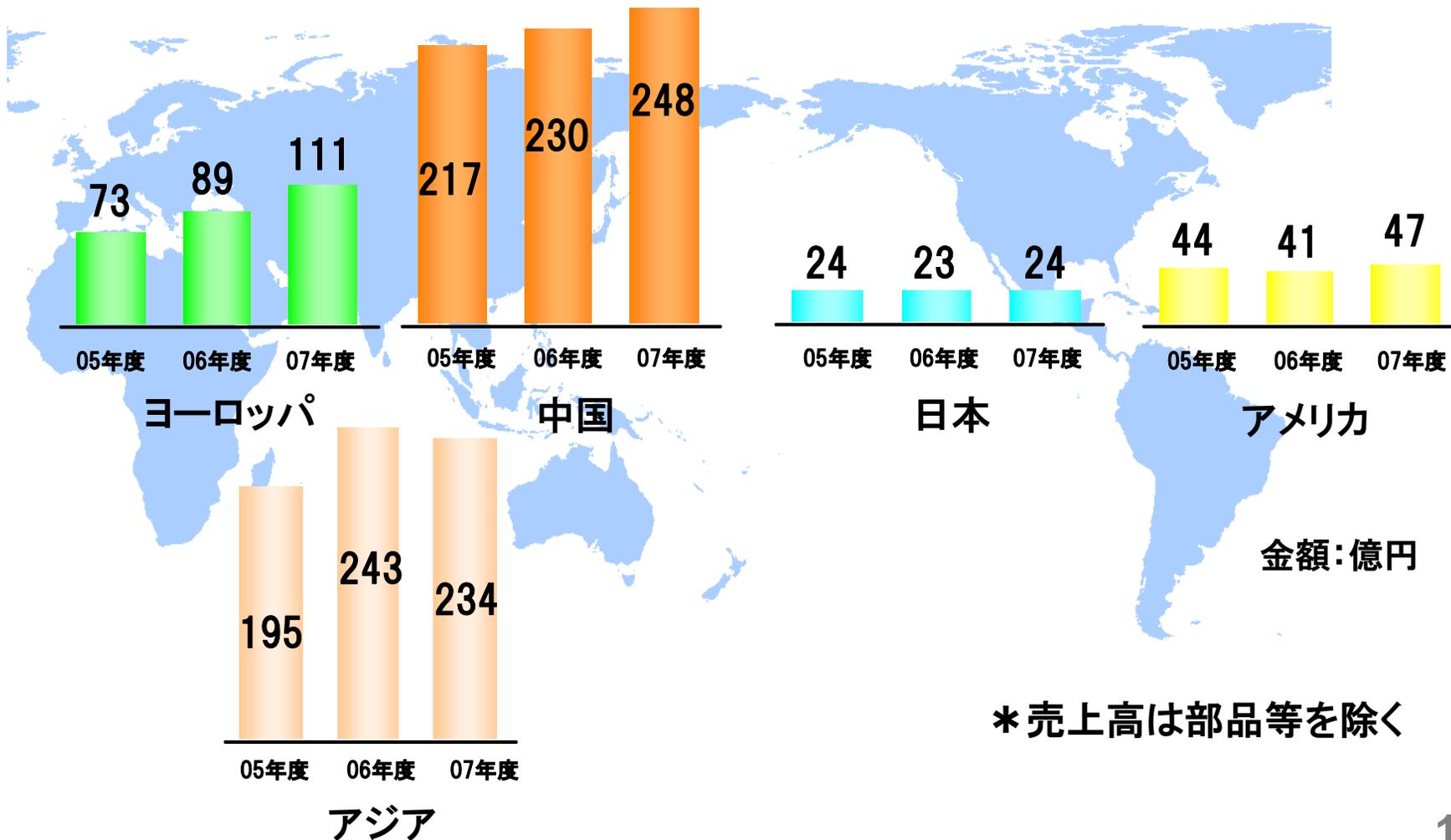
	05年度 実績	06年度 実績	07年度 実績	06年度比 増減	06年度比 増減率
工業用マシン	9,549	11,670	12,947	1,277	10.9%
産業機器	1,011	2,922	1,978	△944	△32.3%
※家庭用マシン	△76	△1,458	△1,775	△317	△21.7%
電子・精密機器	1,732	1,828	715	△1,113	△60.9%
※その他	242	△209	△119	90	43.1
(消去)	△1,193	△1,758	△1,394	364	—
営業利益合計	11,266	12,995	12,352	△643	△4.9%
※うち訪問販売 合計	110	△517	△520	△3	△0.6%

売上高、営業利益とも堅調に拡大

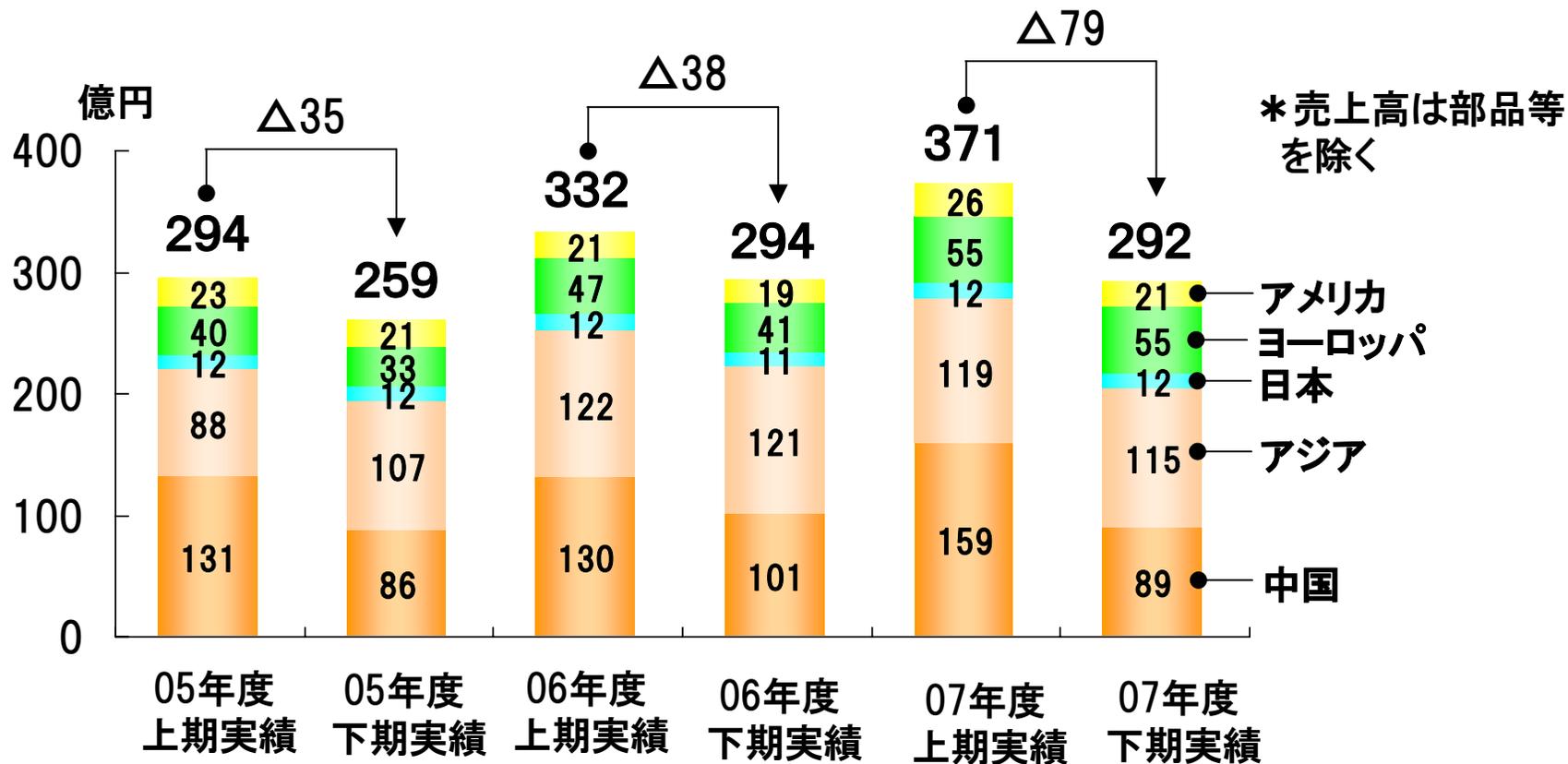


糸切付本縫ミシンを含めた省力機・高付加価値製品の販売増および円安等により、売上高・営業利益ともに増加

中国、欧米で拡大。アジアは減少

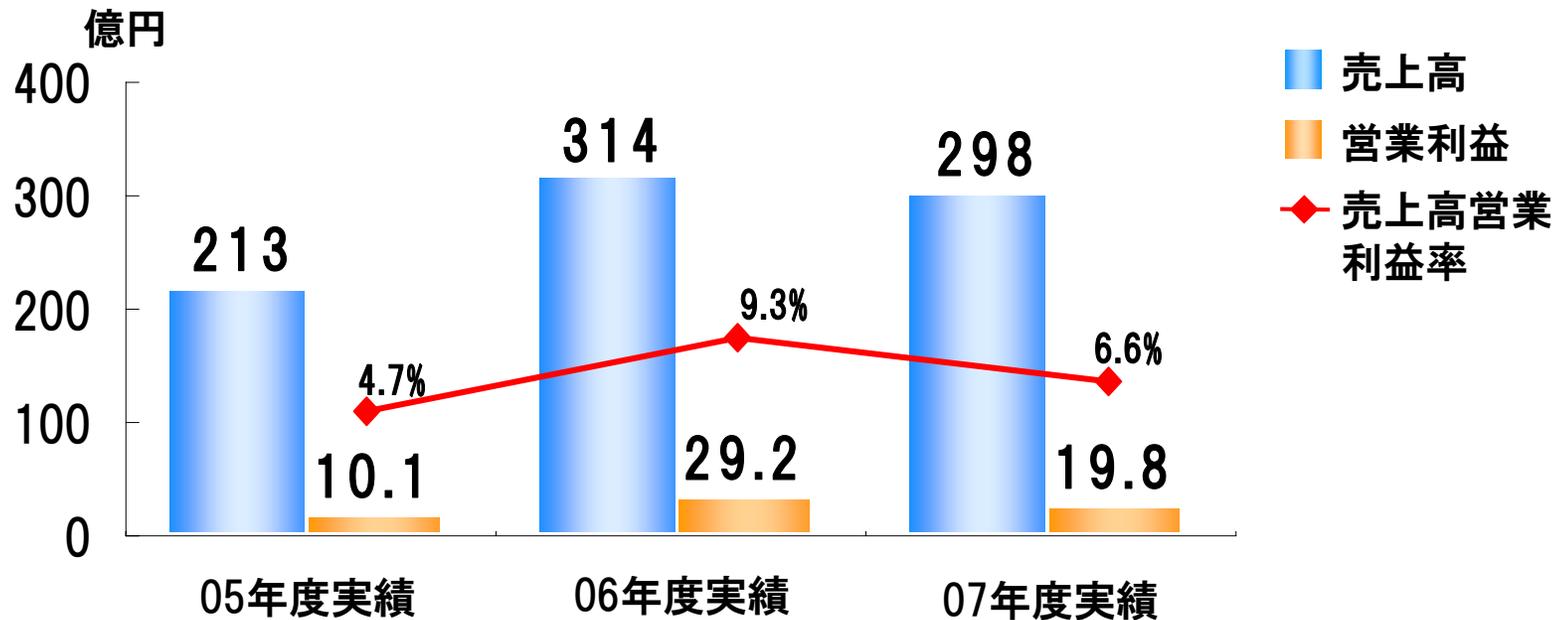


07年度下期は中国の大幅減に伴い、上期比79億円減少



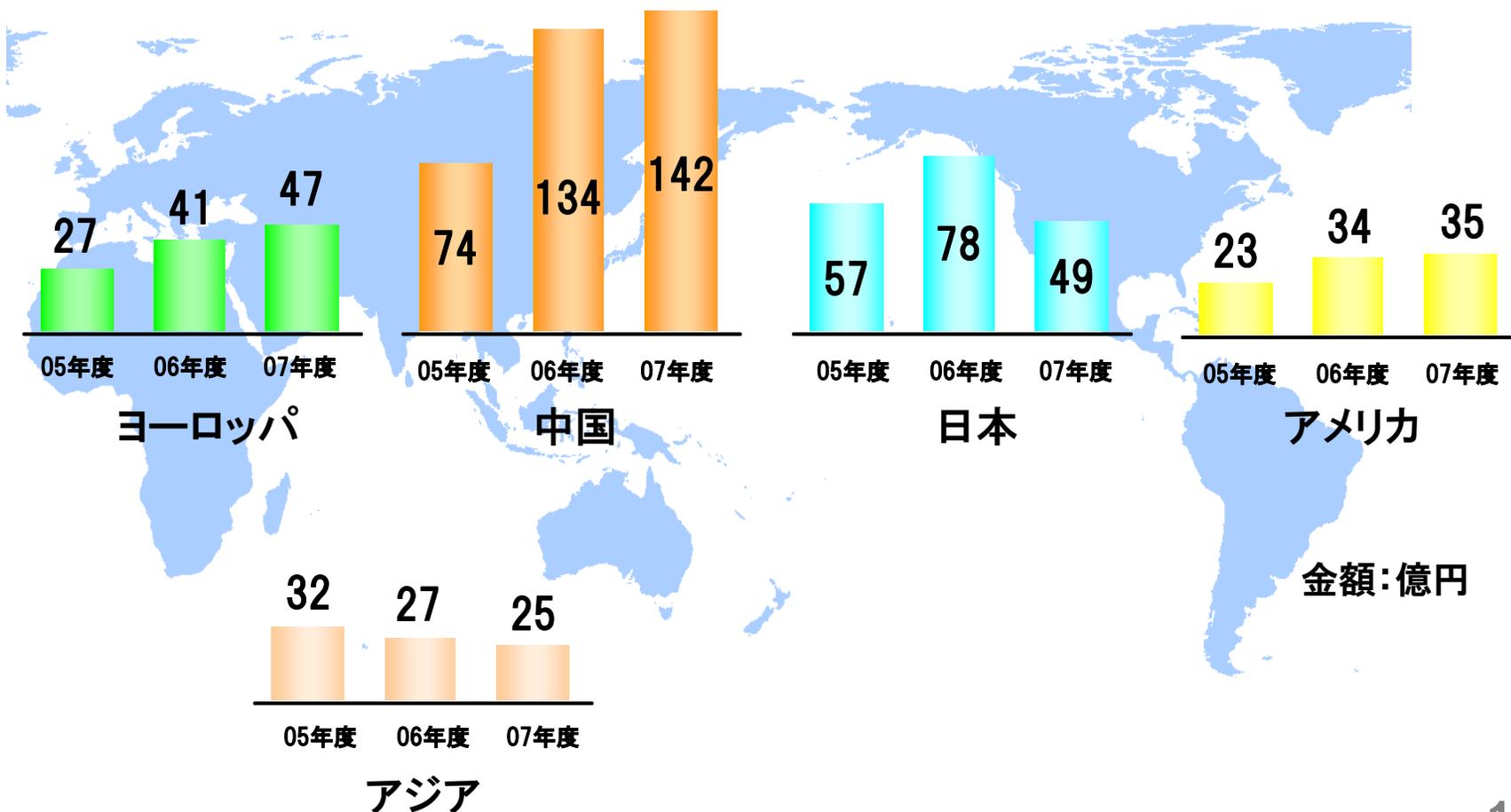
労働契約法・金融引き締め等を背景に、07年度下期に入り中国市場が急速に縮小

売上高、営業利益とも前年比減少

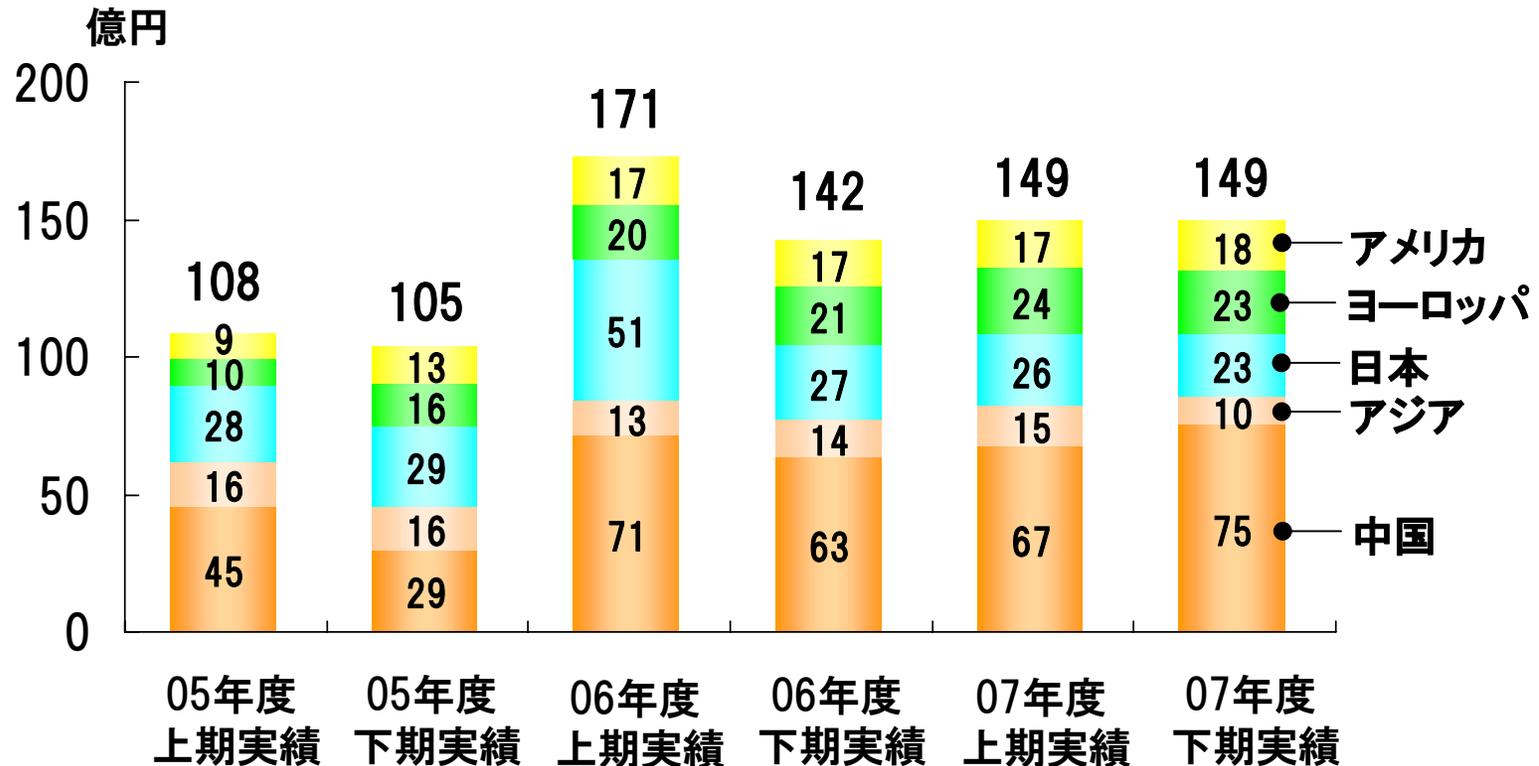


売上高は、前年比5%減。国内の落ち込みを中国、欧米でカバーできず。
営業利益は、更に開発費増、販売単価の低下等も加わり32.3%減

中国、欧米で拡大。日本、アジアは減少

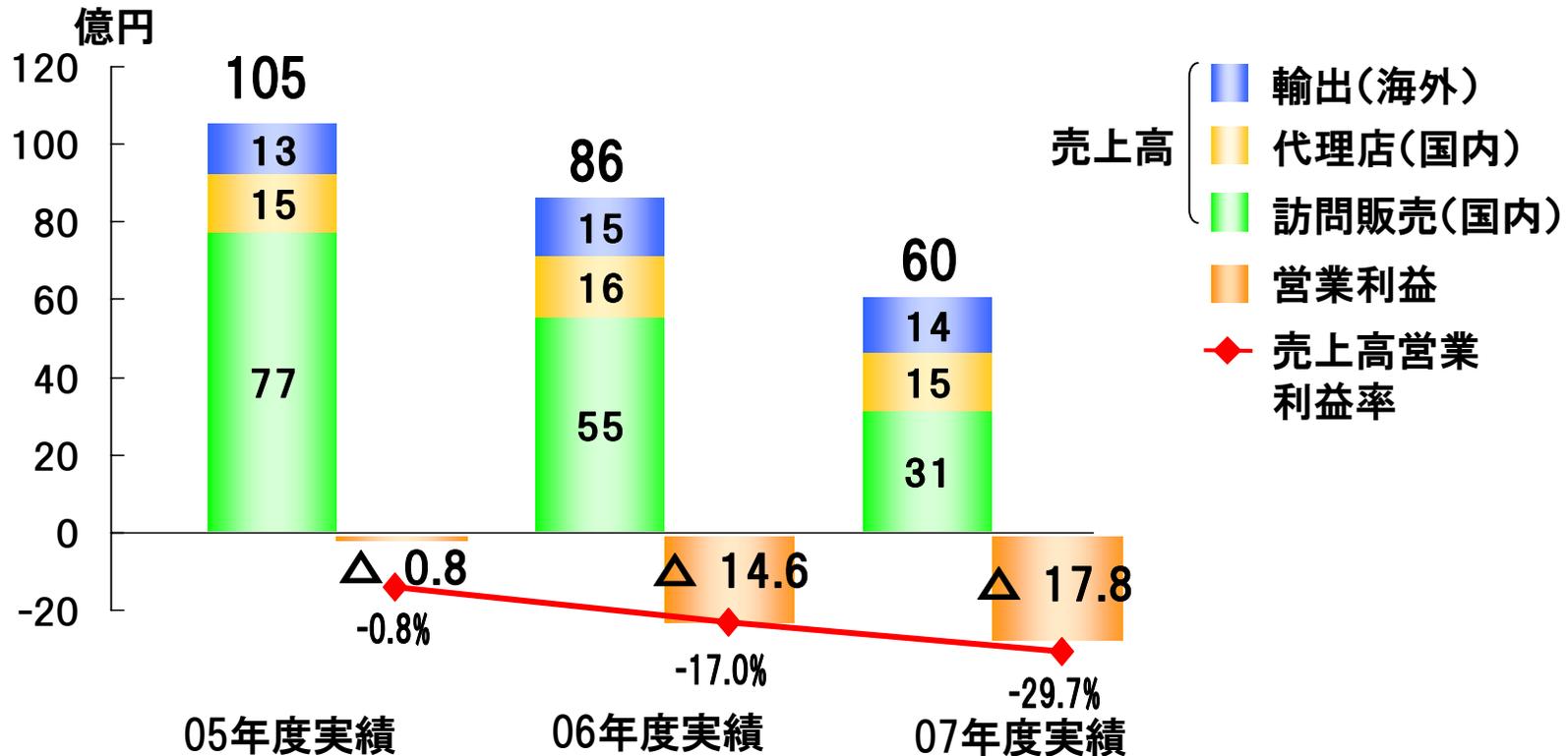


07年度下期は、日本・アジアの減少を中国の増でカバー



中国の売上高比率は、07年度下期50%に上昇

訪問販売の縮小に伴い売上高は引き続き減少。営業赤字はピークに



輸出・国内代理店販売が伸び悩み、国内直販新チャネル構築も進展せず

【訪問販売体制・売上高の推移】

(単位:店、人)

	05年 3月末	06年 3月末	07年 3月末	07年 11月末	08年 1月末
支店数	143	111	77	66	66
人員	1,538	1,417	834	738	701

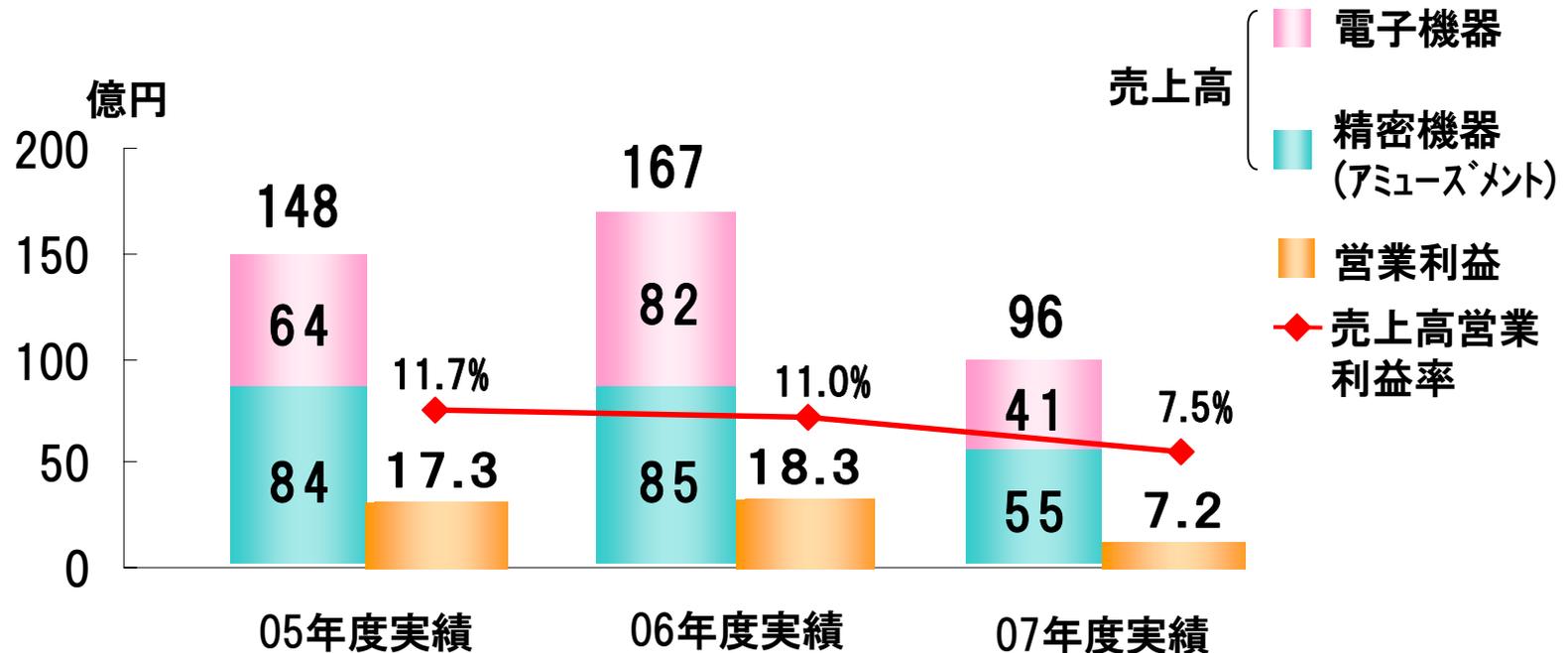
(単位:億円)

	05年度 実績	06年度 実績	07年度 実績
売上高	123	83	47
(マシン)	(77)	(55)	(31)
(その他)	(46)	(28)	(16)

【訪問販売からの撤退】

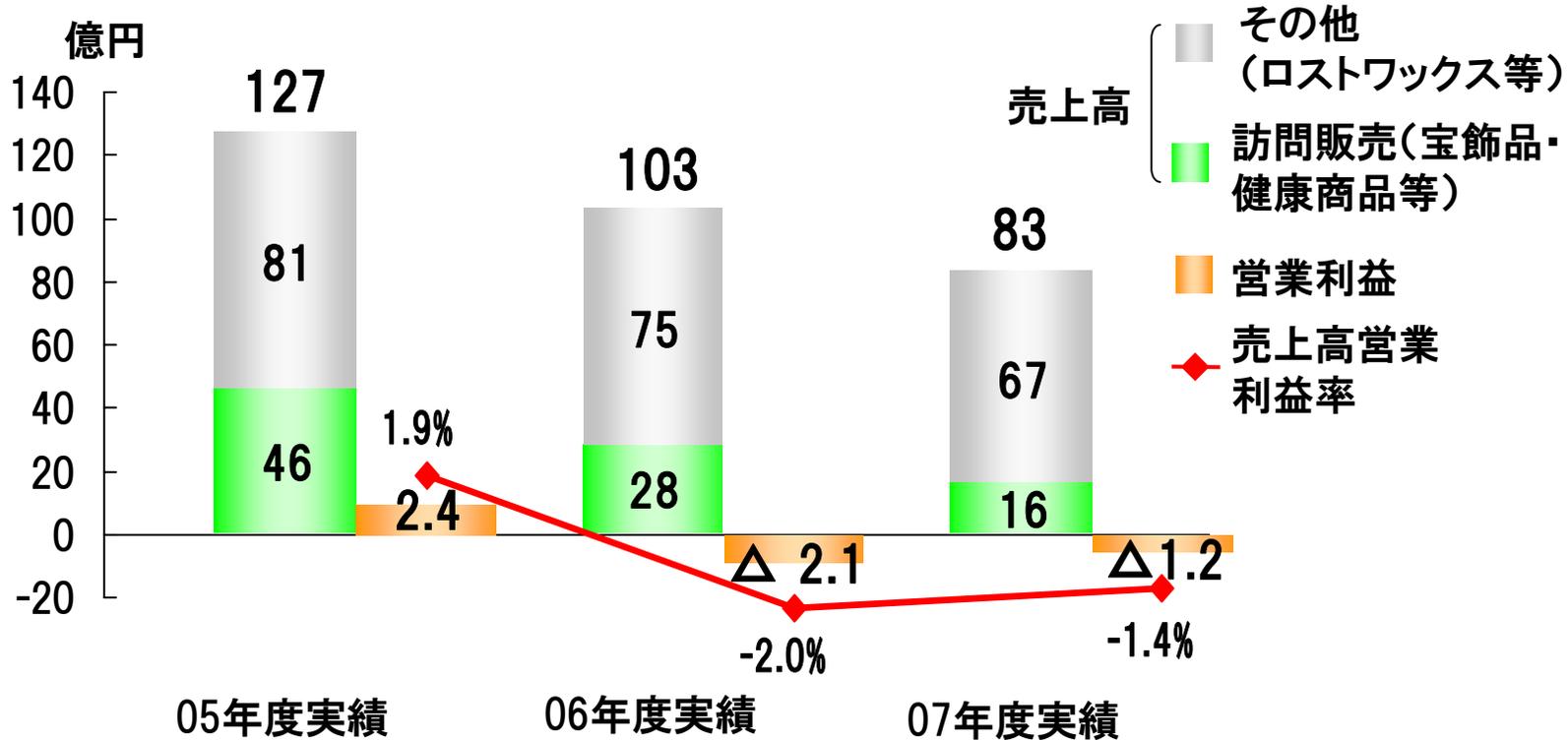
- 04年11月 ・特定商取引法改正
- 05年 7月 ・訪問販売部門の事業部長交代
・改正法を踏まえ販売基準等改正
・支店・人員の削減・縮小に着手
- 07年 4月 ・JUKI家庭製品(株)を設立
(訪問販売事業部門を分社化)
- 07年11月 ・マシンの集中修理センターを
JUKI販売(株)に設置(機能移管)
- 08年2月1日 ・訪問販売による営業活動を停止。
併せて全組織対象に希望退職
募集(応募者657名)
- 2月26日 ・訪問販売事業撤退を公表。
併せて業績予想を下方修正
- 3月11日 ・アフターサービス専門会社(JUKI
家庭製品お客様センター(株))を
設立
- 3月19日 ・経済産業省による6ヶ月の業務
停止命令(3/20~9/19)
- 4月30日 ・JUKI家庭製品(株)解散

売上高は電子機器、精密機器ともに前年比大幅減少。
 営業利益の減は精密機器の利益減が主体



電子機器は採算重視の取り組みにより、精密機器は法令改正に伴うマーケットの縮小により、売上高がそれぞれ減少

訪問販売、その他ともに売上高は減少



訪問販売は08年2月1日より事業活動を停止

第3部

09/3期(08年度)事業計画

1.【売上高】

工業用マシン、電子・精密機器の売上減、訪問販売撤退等の影響で7.9%減少

2.【営業利益】

円高の影響により工業用マシンの利益が減少。家庭用マシンの赤字は縮小するが、全体としては35.2%の減益

3.【投資】

成長のための投資を継続

単位:百万円

	07年度 実績	08年度 通期予想	07年度比 増減	07年度比 増減率
売上高	130,351	120,000	△10,351	△7.9%
営業利益	12,352	8,000	△4,352	△35.2%
経常利益	11,516	7,500	△4,016	△34.9%
当期純利益	4,126	4,500	374	9.1%
[為替レート]	1ドル:117.70円 1ユーロ:161.98円	1ドル:100円 1ユーロ:155円	1ドル:△17.70円 1ユーロ:△6.98円	

【工業用マシン】

- ・円高へのシフトおよび中国市場の縮小を背景に、売上高・営業利益とも減少

【産業装置】

- ・高速マウンタFX-3の発売を梃子に、売上高・営業利益とも前年並みを確認

【家庭用マシン】

- ・訪問販売撤退に伴い売上高は減少するが、赤字幅は縮小

【電子・精密機器】

- ・環境は引き続き厳しく、売上高・営業利益とも減少

【精密鋳造】

- ・採算の改善に注力

単位:百万円

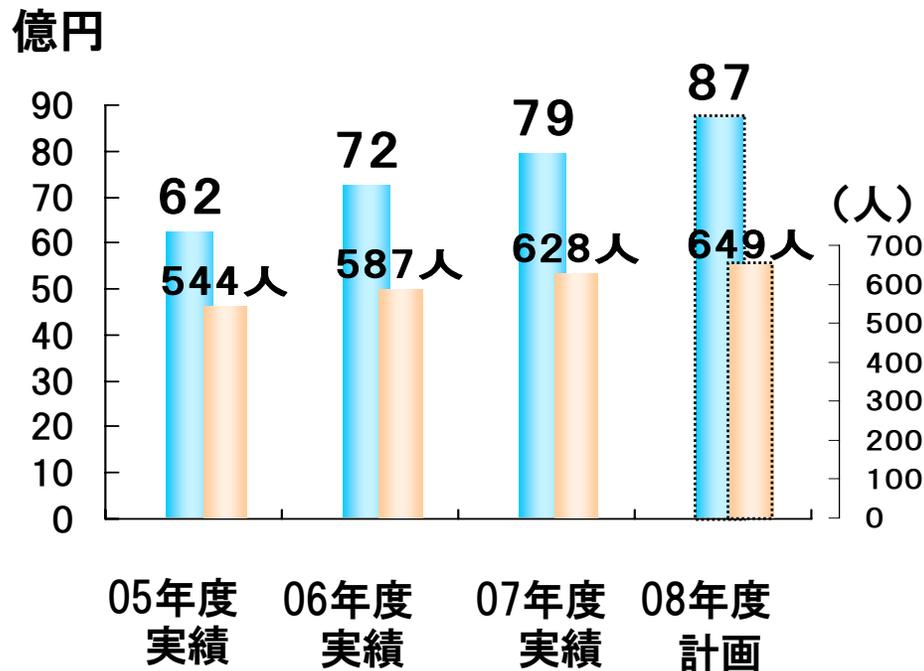
	07年度 実績	08年度 通期予想	07年度比 増減	07年度比 増減率
工業用マシン	76,625	72,500	△4,125	△5.4%
産業装置	29,812	31,000	1,188	4.0%
※家庭用マシン	5,983	3,700	△2,283	△38.2%
電子・精密機器	9,596	5,400	△4,196	△43.7%
精密鑄造	8,332	4,500	△932	△11.2%
※その他		2,900		
売上高合計	130,351	120,000	△10,351	△7.9%
※うち訪問販売 合計	4,715	0	△4,715	△100%
[為替レート]	1ドル:117.70円 1ユーロ:161.98円	1ドル:100円 1ユーロ:155円	1ドル:△17.70円 1ユーロ:△6.98円	

単位:百万円

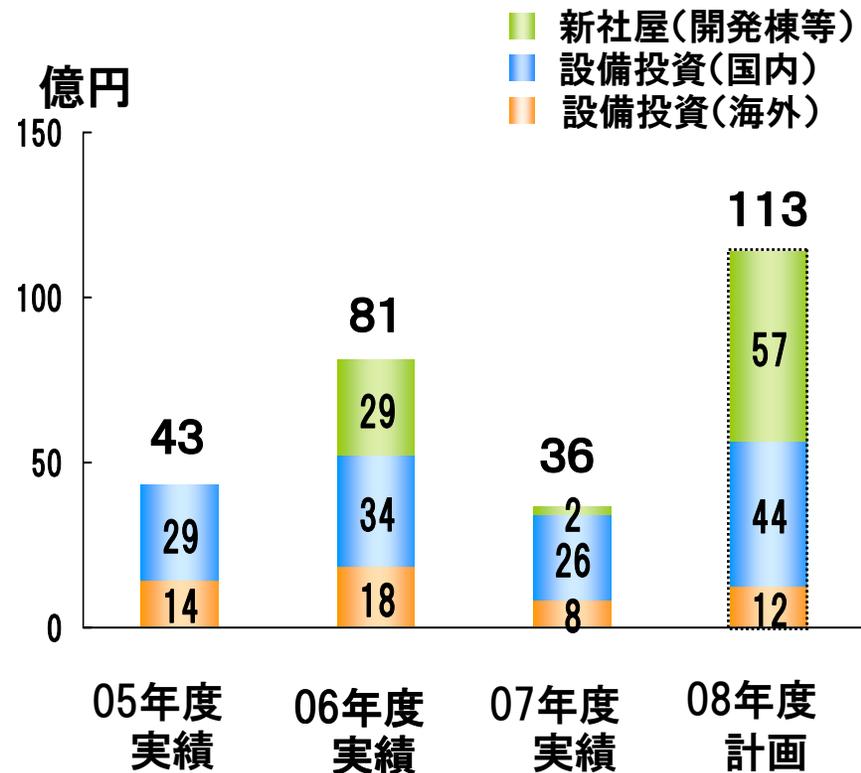
	07年度 実績	08年度 通期予想	07年度比 増減	07年度比 増減率
工業用マシン	12,947	8,600	△4,347	△33.6%
産業装置	1,978	1,800	△178	△9.0%
※家庭用マシン	△1,775	△1,300	475	26.8%
電子・精密機器	715	400	△315	△44.1%
精密鑄造	△1,513	200	13	0.9%
※その他(消去含む)		△1,700		
営業利益合計	12,352	8,000	△4,352	△35.2%
※うち訪問販売 合計	△520	0	520	△100%
[為替レート]	1ドル:117.70円 1ユーロ:161.98円	1ドル:100円 1ユーロ:155円	1ドル:△17.70円 1ユーロ:△6.98円	

収益環境は厳しいが、成長投資は継続

【開発投資】
[金額(支出ベース)・人員]



【設備投資(取得ベース)】



新社屋投資と国内設備投資が拡大

財務基盤の充実を図りつつ、株主還元を推進

06年度

- ・中間3円/株、期末7円/株の年10円/株を実施
(配当性向19.6%)

07年度

- ・中間5円/株、期末5円/株の年10円/株を予定
(配当性向31.3%)

08年度

- ・中間5円/株、期末5円/株の年10円/株を予想
(配当性向28.7%)

本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおります。
従いまして、実際の業績等が様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承ください。

JUKI株式会社

お問合せ先： 総合企画部 担当：寒川^{そう がわ}

TEL :03-3480-1957 FAX :03-3480-9734

ホームページURL: <http://www.juki.co.jp/>